

第4回はーとふるメッセ実りの集い
ちば工賃向上ワークショップ
フィールドレポート

社会福祉法人 よつば
よつば就労センター よつば工房
室山圭史

よつば工房の紹介

- 利用者と職員が気兼ねなく、何でも伝え合える信頼関係を大切にし、アットホームで活気がある賑やかな職場です。
- 多機能型事業施設(就労移行支援「ユイマール」、就労継続支援B型「よつば工房」)として柏市柏の葉に設置
- 内勤・外勤の請負作業を中心に、一つの職場として利用者の社会復帰を目指しています。
- 利用者の年齢層は幅広く20代～60代で、最近は女性の利用者が増えています。
- 平成25年2月現在の利用定員数は20名です。



主な作業内容

● 内勤作業

- 紙折り
- のり付け作業
- コサージュ部品製作作業
- 印刷、封入作業
- シール貼り作業他



● 外勤作業

- 公園清掃
- ポスティング作業
- 倉庫内軽作業
- 売店接客業務他



ちば工賃向上ワークショップ参加動機

- 複数事業所協同による受注事業として「ちばリサイクルネットワーク事業」へ参加する上で、より細かく事業内容を把握し活動しやすくなると思ったため

取組テーマ

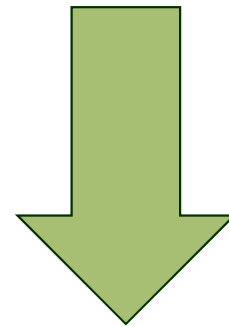
- 「よつば工房」で取り組んでいる事業全体
- 全体工賃を20%以上アップさせる(426,540円増)

戦略

- 単価、利益率の低い作業から高い作業への転換
- 外部作業を増やすことにより工賃単価を底上げし、地域への知名度を上げる。
- 景気の影響を受けにくい商品（オリジナル商品・リサイクルネットワーク事業）への定期的な検討を事業所全体で行い、試作品を3月までに作る
- 関係企業へ「発注促進税制」等の情報提供や社会貢献の視点から、上記商品をアピールする機会を持つ。

戦略の背景

- ワークショップに参加し、請負作業を主体とした弱みとして「景気の影響を受けやすい」「内職業界の単価が安く向上が難しい」
- 強みとして、長年のノウハウがあり安心できる質の高い作業を提供できる



	内部環境	外部環境
プラス面	強み Strength	機会 Opportunity
マイナス面	弱み Weakness	脅威 Threat

- 地域に発信できるサービス(商品の開発、検討)が必要

アクションプラン

内勤作業

- 利率の高い内勤作業を優先する
- メンバー主体のミーティング開催

外勤作業

- 新規外部作業の定着のためマニュアル作成
- 外部希望表によるシフト表を作成し、公平に参加できる機会を増やす

その他

- ボランティアスタッフの確保、育成
- オリジナル商品開発会議開始
- オリジナル商品サンプル作成
- 千葉県リサイクルネットワーク事業参加



実践②オリジナル商品開発会議

- 同法人事業所「クローバ沼南」が参加する販売会等で販売できる商品開発を目標として、月二回実施

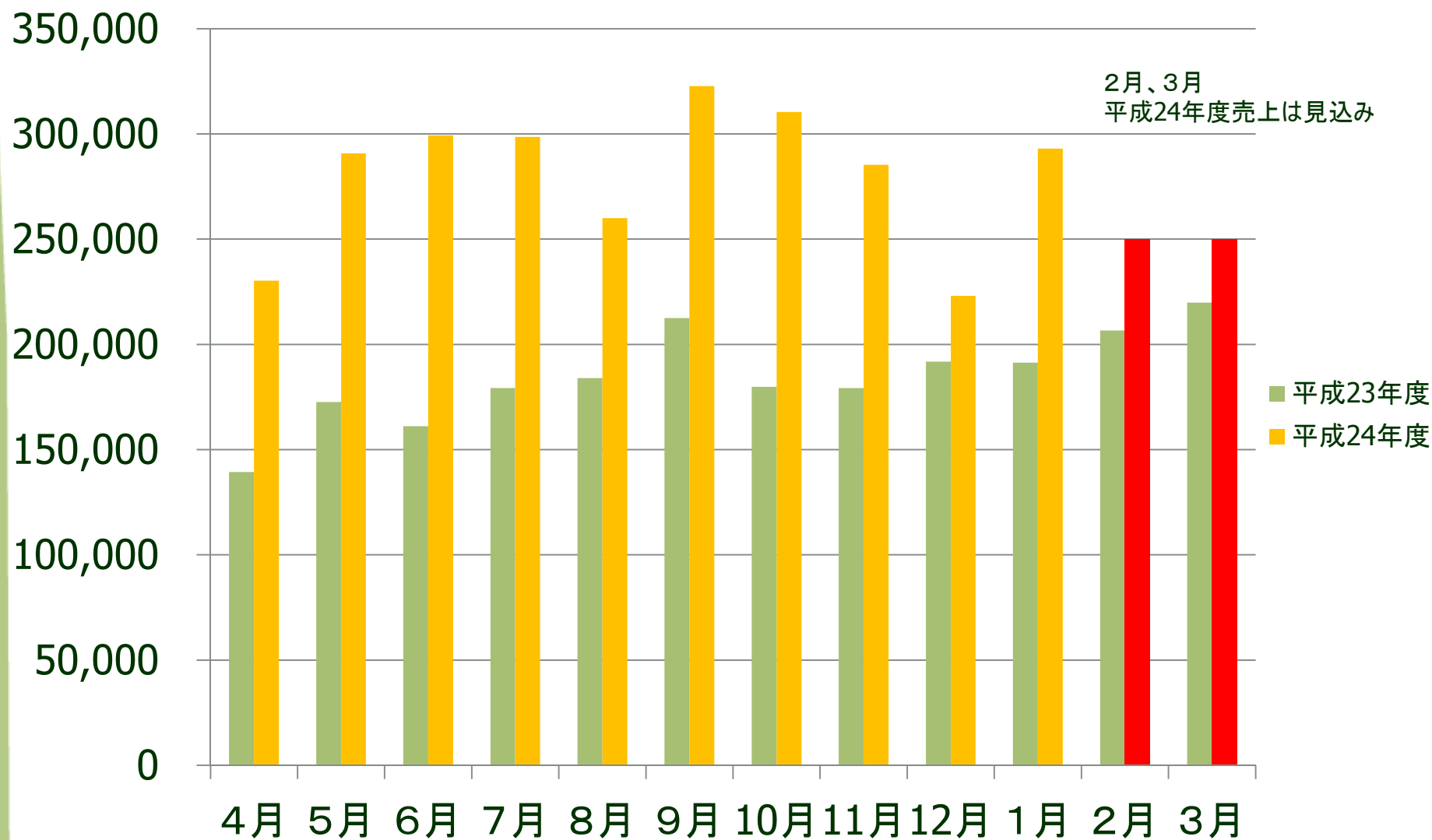


実践③千葉リサイクルネットワーク事業参加

- 作業道具の準備
- 作業マニュアルを使った利用者への作業指導を実施



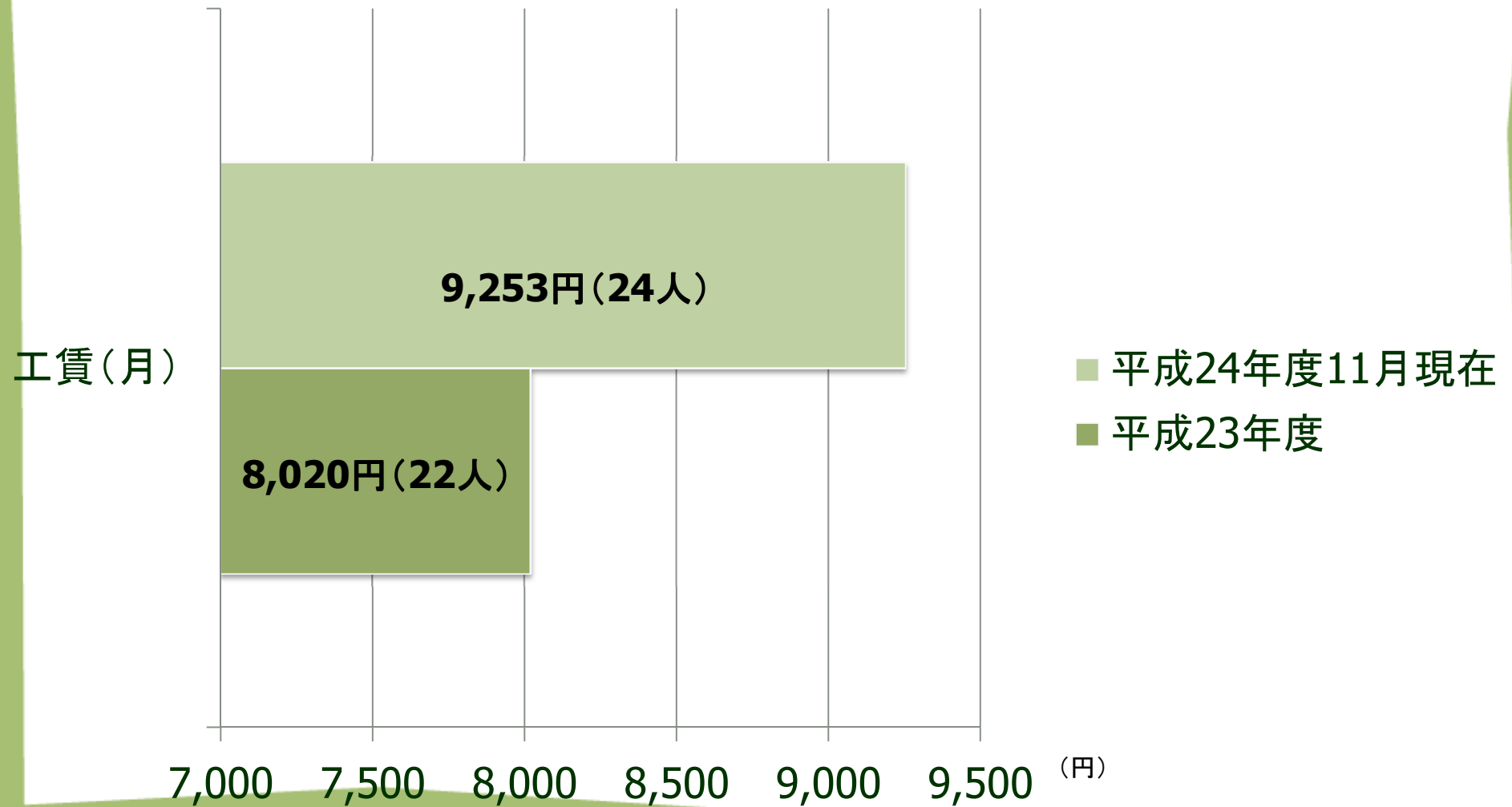
月別売上実績



平成24年度目標	平成25年1月累計	平成23年度実績
2,660,827円	2,828,213円	2,217,356円

平成24年度 売上見込み
3,357,421円

工賃(平均、一人につき)



まとめ①利用者との関わり

- 工賃向上について全体のミーティングをする機会が増えたことにより「職員の思い」「利用者の気持ち」を明確に伝え合うことができ、結果的に『働けば稼げる！』という作業への意欲向上に繋がった。
- 商品開発会議へ企画から積極的に参加してくれる利用者もあり、作業だけではない訓練が行えた。


まとめ②お客様との関わり

- ワークショップの資料作成において、事業の強みを明確に知ることができ自信を持って作業の提案や検討を行うことができた。
- 企業側との話し合いの場でも「ワークショップ参加」「発注促進税制」等の話題から、「どのように工賃を上げて行くか」事業所の姿勢をアピールすることができ、また協力をいただけることもできた。

ご活用下さい!

**障害者の働く場に対する
発注促進税制**
が創設されました

本税制は、障害者が働く施設などへの発注額が増えた場合に、発注を行った企業に対して法人税等の税制優遇をするものです。



厚生労働省

来年度に向けた課題

- 利用者定員増加に伴い「作業量アップ」「作業単価の維持」
- 内勤作業による地域へのサービス提供（秋のイベントに向けた商品開発、リサイクルネットワーク事業への検討）

来年度の目標

- 売上 年間売上380万円
- 工賃 時給単価250円以上

利用者の持つ「力」「可能性」を市場や企業へ伝えられるのは福祉職員の「力」だと思います。

利用者の思いを大切に就労支援を今後
も続けていきます。



ご静聴ありがとうございました。

- 〒277-0882
柏市柏の葉5-3
- 電話：04-7197-2507
- FAX：04-7133-2986

